

念願の旅行に行ってきました＼(^o^)/

冬景色満喫!!

年度末が近づく2月15、16日に、2017年度の旅行に行きました。ご存知の方もいるでしょうが、この旅行は「秋旅行」の呼び名が定着していて、今年度も当初は秋の予定でした。ところが、予定日に台風が直撃してまさかの延期に。みんなには悲しいできごとでしたが、行事担当の僕にはチャンスになりました。当たり前ですが、季節ならではの絶景がたくさんあります。春は花、初夏に高原、雪景色。「秋旅行」って限定することないのに…。そこへ台風がもたらしてくれたわけです、「冬旅行」！行程は一から考え直して、冬だからこそその景色へ出発です！

最初の目的地は榛名山。群馬県にあって、榛名湖という火山湖もあります。有名ですね。その前に榛名神社にお参り。奥さんは事前に「御朱印帳を持っていてもいいですか？」と聞いてきていて、道中のバスでもそれを開いて印をもらうのを楽しみにしていました。千本杉という樹齢百年以上の木々や岩場を通って進んでいき社務所がありましたが、そこには張り紙が。この日は神楽を奉納していて御朱印受付は午後からとのこと。なんとという偶然。奥さんはその張り紙を携帯電話で写真を撮って御朱印としました。さらに進んだ先の本殿では当然神楽が舞われていて、お賽銭を投げてガラガラという雰囲気ではありません。ある種思い出に残りますね。



バスに戻ってあと少しの山道を登り切ったら榛名湖です。遠くからでも一目見て、凍っているのがわかりました。下見で訪れた1月2週目にはまったく凍っていなかったのが、1月後半に訪れた最強寒波のおかげです。色が違うし、ワカサギ釣りのテントがたくさん立っているしで、車内は軽く盛り上がりました。湖畔の食堂で景色とワカサギのから揚げなどを味わい、食後は足早に湖面へ向かいます。

久保さんは「オレや今井さんは100キロ近いから割れちゃうよ」と一応言っていました、「(ワカサギ)釣りをしている人があれだけいて割れないのにな？」と答えたら話は終わって、笑顔です。ただの確認。湖を歩いてみたくないうけがない。空間が広くて、青白い山に囲まれて、東京に雪が積もるのはまったくの別物。誰も怖がらないで、ただ歩いているだけで嬉しそうでした。わずかな時間でしたが、これだけでも冬に旅行をした甲斐があった体験となりました。その後、近くのロープウェイに乗って榛名富士からの展望も満喫し、群馬サファリパークにも行きましたが、文字数の関係で割愛します。

宿泊先は過去にも利用した宿で、大山さんが「冬桜の宿、久しぶりですね」と言ってくれて、嬉しかったです。他の人、覚えていたかな？もう一人宿をよく覚えていたのは池田さんで、「前に泊った部屋が良かったから、また同じ部屋にしてほしい」とご希望。それは本当に特別室だそうで、部屋にマッサージ機までついていて、女性陣は全員利用したとか(一応言っておくと料金は同じです)。夜は早く寝る人が多い中、米重さんの部屋では10人ぐらいが集まって珍しくトランプをしていまし



た。旅行らしくていいです。自閉症の花田さんもとても楽しそうに一緒にやっていたのが、人柄からして意外とまでは思わないのだけれど、印象に残っています。ババ抜きから神経衰弱に変わるときに、水越さんに「榎崎さん強いんでしょ？」と負けたらバカにされるのが見え見えて誘われました。逃げたら負けです、勝つしかない。でも10人もいと番がくるまでに忘れてくるし、自分の番には水越さんのヤジが飛び、奥さんが最後に全部取ったときはあせりましたね。まあ、威厳はなんとか保てました。



翌日はまず「三十槌(みそつち)の氷柱」を見に行きましたが…割愛！農園に移動して昼食のバーベキューの後は、いちご狩りです。

サッカーができてそうな広い温室に一面イチゴ。ある意味絶景。僕はバーベキューのお肉はイチゴを食べない毛利さんにほとんどゆずっていました。野菜は、毛利さんが食べないのを知ってか田沢さんが自然に二人分とると、それを見た宮島さんが自然と二人分(つまり僕のを)食べてしまいましたので、イチゴ腹になる準備は万端です。はやる気持ちのままに、道中たいてい近く

にいる鄭さんとくりだそうとすると、花房さんがすごい意気込みで摘もうとしています。好き嫌いで食べないのに、摘み取る意欲は人一倍な模様。手当たり次第に熟していないものまで取りそう。どうしたものかと思いましたが、ヘタを入れる器にイチゴを入れていたので、とりあえずそれを一杯にしてみるとこれが正解。満足したのか中央のエリアに戻っていきま



仕切り直して鄭さんとスタートです。(彼は許可がないと食べないから、この間も待っていたのです。)大きくてヘタまで熟したものを食べると、なんて美味しい。鄭さんは心なしか美味しさを感じている笑顔だったような気がしましたが、それよりも次のイチゴ。この点で僕らは価値観を共にしています。「これは絶対おいしいよ！」と探すのも楽しいです。品種は二つあり、小ぶりで赤みも少ない「やよいひめ」は程よい酸味と香りがあり、西沢さん、秋葉さんと男性陣に好評のよう。清水さんも「やよいひめ」サイドで一人食べています。見ていると、ちゃんと大きくて熟れたものを選んでいきます。経験があるのかな？声だけかけて本人に任せます。内藤さんは人に採ってもらったら食べるみたいです。甘みが強い「べにほっぺ」側では看護師の釜本さんが桑原さんと集めていました。器に採りためてから食べるそうです。言われてみると確かにハウスののはじのコンテナに座って食べている人が大勢。考えてもみなかったね、鄭さん。

最後にまだ少し時間があって、道の駅あしがくぼに寄り、イチゴを食べなかった花房さんは念願のソフトクリームを食べられました。数分歩いたところに氷柱があり、触れるような近い距離で見られてお勧めです。お土産を買いたい人のために自由時間にしたので、一部の人しか見なかったのが少しもったいなかったのですが。

というわけで、冬の旅行は成功のうちに終わりました。みんな、秋以外もいいよね？ (榎崎)

